

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和8年 3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	・課外活動などは、職員を増やして行くようにしている。	引き続き実施する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・階段が急で登り降りが大変そうな児がいる。 ・2階への階段は急なので、気をつけるよう声は掛けている ・主に1階を使用しているので、バリアフリーではないが、体を動かすことにはつながっている。	・今後も職員が付き添い、安全に昇り降り出来るようにしたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・始業前に掃除をしたり、環境整備を行ったりしているから。	・身体を動かせる空間があってもよい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・クールダウンする部屋を用意している。	引き続き実施する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		引き続き実施する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者一人一人に声をかけて評価をお願いしている。 ・毎年1回事業所評価をお願いしている。	引き続き実施する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・朝礼、終礼を通して、職員間で情報・気になったこと・気づきを共有している。	引き続き実施する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・数年に1回第三者評価を受けている。	引き続き実施する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・定期的に研修に参加したり、事業所内研修を適宜行なっているから。 ・月1回事業所内研修を実施している。 ・外部、内部の研修に参加している。	引き続き実施する。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・必要な情報は公表している。	引き続き実施する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・アセスメントシートを活用。 ・毎回の記録を参照にしている。	インフォーマルなアセスメントによる適応行動の確認ができていない。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・児発管が主に作成をしている。 ・職員間で共通理解を図り作成している。	引き続き実施する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援のずれがないよう共有している。	引き続き実施する。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		・アセスメントシートを活用しているが、日々の細かな様子でのアセスメントツールは活用できていない。今後、職員間でも話し合いを実施していき、活用しやすいアセスメントツールについて検討していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		引き続き実施する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員間で話し合い立案をしている。	引き続き実施する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	児に合わせて買い物活動や法人の公益活動等も取り入れながら活動を実施している。 職員が交代で活動についており、固定化しないように工夫している ・季節に合わせた活動を取り入れている。	引き続き実施する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別の時間や他児と過ごす時間を分けて活動を実施している。	引き続き実施する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼を行い、支援や流れ、それぞれの役割について共有を実施している。	引き続き実施する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・振り返りは毎回実施している。 ・終礼は毎回利用児さんの状態、支援についての振り返りを実施している。	引き続き実施する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	連絡帳に記入し、振り返ったり、次に繋げて考えられるようにしている ・毎回計画書に沿った記録をとっている。	引き続き実施する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・職員間で見直しを定期的実施している。 ・支援の必要性、プランの評価を実施している。	引き続き実施する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・利用児さんが自分で選択したり、気持ちを伝えたりできる方法を検討している。 それを支援に取り入れている。	引き続き実施する。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・主に管理者兼児発管が参加している。	引き続き実施する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	適度、学校と連絡をとり情報共有を行なっている。 ・概ね母親との引き継ぎ時に情報共有をしている。必要時には学校に電話連絡もしている。	・引き続き、学校との情報共有を定期的実施していく。 連絡帳も毎回共有している為、コメントをもらいながら、学校での様子も把握していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		就学前の園との情報共有はできていない。 利用前には、利用児の情報把握に努めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		前年度は電話連絡で引き継ぎをしている。今年度も状況表を作成し、引き継ぎを行っていきたい。 ・就学後の情報も把握していく。 ・支援の切れ目がないよう引継ぎをしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		地域のセンターと連携を図る機会はない。 今後も適宜情報共有を図りたい。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		同じ事業所間での交流はあるが、それ以外はない。今後もお買い物等地域の場に出向く機会を設定していきたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	管理者が、自立支援協議会へ参加している。 子ども部会のメンバーとして参加している。	職員が自立支援協議会の名称を知らないことがある。取り組みを共有しながら、理解に繋がっていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・丁寧に引継ぎを実施している。 ・毎回個別で引継ぎを実施している。 ・家庭での困りごとを共有している。	引き続き実施する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・ペアトレの案内をお知らせしている。 ・随時勉強会の案内はケアコラボで発信をしている。	引き続き実施する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明をしている。	引き続き実施する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	・茶話会などをお知らせをしている。	・放デイの利用児さんの保護者同士で繋がる機会はない。 ・今後交流する機会は設定したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	職員間で共有し、改善に向けて話し合いを行っているから	引き続き実施する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月通信は配信している。 ・必要なご家庭には紙でも配布している。 ・ケアコラボを活用している。	引き続き実施する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・SNSに掲載する際には、紙面だけではなく、個別にお声がけをして掲載することに了承を得ている。	引き続き実施する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・地域の方を招待する行事はない。 ・地域の方に事業所を知ってもらう機会を作る。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・それぞれのマニュアルは見直ししている。 ・月1回それぞれの災害に合わせた訓練を実施している。	・引き続き実施する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・必要な訓練を実施している。 ・研修を受けている。	・引き続き実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	契約時に必ず確認するようにしているから	引き続き実施する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・必要な研修を実施している。	引き続き実施する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・保護者へは通信、ケアコラボで毎回訓練状況などを周知している。	引き続き実施する。

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・終礼で振り返っている。 ・対応を話し合っている。	引き続き実施する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・必要な訓練を実施している。	引き続き実施する。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・契約時に、身体拘束について話し合いをしている。保護者に説明を丁寧に行っている。	引き続き実施する。